

平成 15 年 2 月 25 日

各 位

U F J 信託銀行株式会社

## 企業型確定拠出年金の従業員教育に係る「W e b 配信サービス」 の取扱い開始について

U F J 信託銀行株式会社（社長：土居 安邦）は、このたび、企業型確定拠出年金の従業員教育について、W e b 画面上で情報配信する「W e b 配信サービス」の取扱いを開始します。

従来、確定拠出年金の従業員教育は、制度導入当初の教育に重点が置かれている傾向にありましたが、実際に制度を導入した企業では、中長期的に従業員の投資意識を高める継続的な教育の重要性を指摘される声が強いことから、導入後の継続教育をサポートするサービスを開発したものです。

### 記

#### 1. サービスの概要

当社が運営管理業務を受託した確定拠出年金プランに加入する従業員に対し、インターネット上で音声付のアニメーションを用いて、以下の内容をわかりやすく解説します。

（画面イメージは別紙参照）

制度の概要      ライフプラン      運用商品知識  
運用商品選択のポイント      運用商品の預け替えや離転職時の手続き  
税金                      Q & A                      等

#### 2. サービスの特徴

- ・ 当社が、従来より提供している四半期毎に発行する情報誌「ニュースレター」に加え、本サービスの導入により、制度導入後の“継続的な従業員教育”について、より充実したサービスの提供が可能となります。
- ・ 制度導入時のセミナー等で使用するテキストやビデオ類と内容に一貫性を持たせており、反復継続的な利用により、従業員の運用商品に関する知識の浸透に効果的です。
- ・ 当社が運営管理業務を受託した確定拠出年金プランに加入する従業員は、いつでも、好きなときに、本W e b サイトを閲覧し、情報を入手することが可能です。
- ・ 各画面をP D F ファイル化し、印刷すればマンガ風の資料として利用することが可能です。また、企業はパソコンを利用できない従業員にも対応できます。

#### 3. 本サイトのURL

<http://www.ufjtrustbank.co.jp/401k/kanyusha/index.html>

画面の閲覧には、加入時に付与されるID、パスワードが必要です。

別途、見本画面は誰でも閲覧可能としております。

以 上

## 画面イメージ1

## ライフプラン

ライフプランの考え方とシミュレーションについて



伊集院： よし！じゃあ早速やってみようかな。

松雪： ちょっと待って・・・老後を迎える時の自分の蓄えってどうやって計算するの？

博士： ふおっふおっふおっ。それはいろいろ考える必要があるのじゃ。まず、確定拠出年金の受取額じゃろ。そして退職金や企業年金。退職金は住宅ローンの返済などで、老後の生活費として使える額は減ってしまうこともよくあるぞ。それに公的年金も少子高齢化などによる給付額への影響も考えられるな。

伊集院： えーっ。じゃあ、やっぱり自分で貯めとかなきゃいけないのかなあ・・・。

松雪： でも、老後ってまだ先の話だし・・・老後までに一体どのくらいお金を貯めることができるのかしら？

伊集院： それは、人それぞれなのじゃ。つまり、いつ結婚し、いつ、何人子供を産み、いつ家を買うかといった、いわゆるライフプランにより変わってくるのじゃ。若いうちからいろいろ考えておれば、きっとお金も貯めることができるぞ。

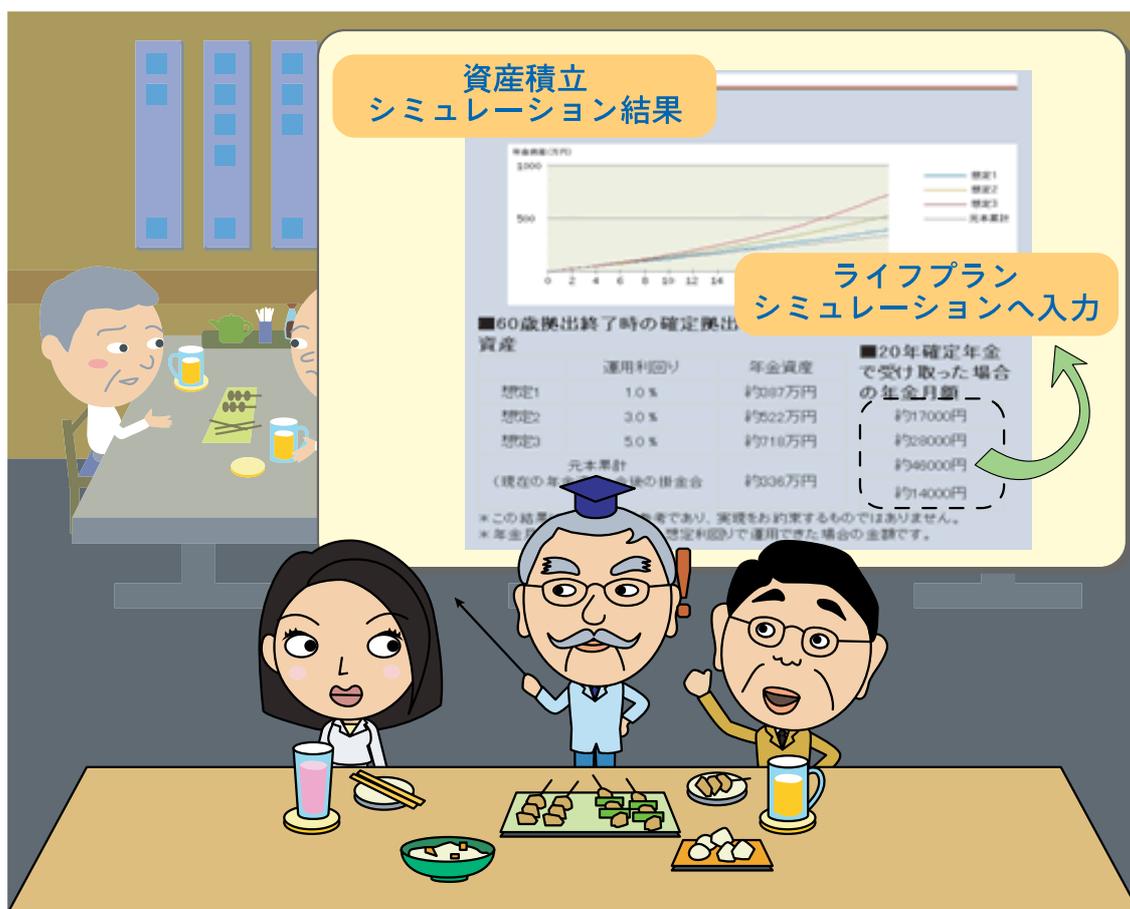
松雪： ふーん・・・老後の事を考えるのは早ければ早いほどいいのね！

## 画面イメージ2



博士： そうじゃ。具体的なライフプランは、UFJ銀行の「ライフプランシミュレーション」、  
「ライフステージ情報」を見ると良いぞ。「ライフプランシミュレーション」は、ラ  
イフプランの必要項目を入力すれば、将来の貯蓄の推移や老後の生活費等が分るのじ  
ゃ。「ライフステージ情報」はライフステージ毎の費用や税金についての情報がわか  
るから、ライフプランシミュレーションの入力時に参考にすると良いな。

## 画面イメージ3



博士： また、確定拠出年金での運用成果を、「ライフプランシミュレーション」に反映させることでより現実に近いシミュレーションが可能となるぞ。まず、「積立シミュレーション」で確定拠出年金での年金資産と、それを元にした受取額を計算し、その受取額を「ライフプランシミュレーション」の「その他収入」に入力すれば、確定拠出年金での受取額を反映させたシミュレーションが可能となるぞ。

伊集院： なるほど！良く分ったぞ！少しでも余裕のある老後のため、是非やってみよう！